

# 定例教育委員会会議録

(平成30年6月8日開催)

岡谷市教育委員会

# 定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成30年6月8日(金)  
午前9時30分  
場 所 市立岡谷美術考古館  
署名委員 小平委員、草間職務代理者

## 【 次 第 】

### ○ 視 察

- ・市立岡谷美術考古館

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 日本遺産の認定について【資料No.1】 (生涯学習課)

### ○ 報 告

1. 岡谷市立中学校における部活動指導員設置要綱及び岡谷市立中学校における部活動指導員任用等事務取扱要領について【資料No.2】 (教育総務課)
2. 岡谷子ども未来塾開講について【資料No.3】 (生涯学習課)

### ○ その 他

- ・行事等について (各課)
- ・その他

【次回開催予定】 7月6日(金) 定例教育委員会 9時30分 2階 202会議室

### 出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、  
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

### 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育総務課長 帯川 豊博、生涯学習課長 小池 秀昭、  
スポーツ振興課長 小河原 義友、教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 小口 明彦、  
教育総務課主査 保科 圭吾

## <会議録>

### ○視 察

<市立岡谷美術考古館視察>

### ○開 会

岩本教育長： あらためまして、おはようございます。今日は、定例教育委員会を市立岡谷美術考古館で開催をする訳ですけども、文化と歴史の薫りに包まれながら良い定例会にしたいなあと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、只今より定例教育委員会を始めたいと思います。本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いをいたします。

最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

今日は、教育総務課から2件、生涯学習課から1件報告をさせていただきます

#### 1. 市内4中学校の職場体験学習における「のぼり旗」及び「ステッカー」の設置について

5月29日～30日の東部中学校を皮切りに、中学校2年生の職場体験学習が始まりました。前回の定例教育委員会の際にお伝えしたように、今年度より、市教委では、「市内中学生 職場体験実施中」というのぼり旗と、「職場体験受入事業所」というステッカーを作成しました。早速、地域の方々から、「よい取り組みを考えた」、「あちこちで旗を見かけて、なんか明るくなった」という声をいただいています。

先週、5月31日～6月1日の2日間、この取り組みのアイデアをいただいた福井大学教職大学院の松木健一先生を訪れ、子どもたちの学力向上に向けた岡谷市全体の指導者をお願いして参りました。岡谷スタンダードカリキュラムが新しい学習指導要領を実践する上で大きな鍵になること、また、中学生の職場体験を岡谷スタンダードカリキュラムに盛り込み、地域の「ひと・もの・こと・こころ」と学ぶことを進めていくことで、岡谷の子どもたちと先生方、そして、そこにかかわる地域と人たちが、お互いに学び合う岡谷ならではの学習スタイルが構築できると言う見通しをお示しいただきました。私たちの取り組みに対する自信を得たと同時に、チーム岡谷として、より一丸となり、子どもたちの学力向上に努めていこうという思いを確認することができました。

#### 2. ふるさと納税型クラウドファンディング

岡谷市では、新規事業として、「ふるさと納税型クラウドファンディング」を導入し、明確な用途となる事業等を明らかにして、その事業の実現に向けた寄付を募ると言う事業をスタートいたします。

今年度、第1弾としまして、教育総務課で新規事業として取り組んでおります、岡谷の「ひと・もの・こと・こころ」に学ぶ岡谷スタンダードカリキュラムの実践を中心とした「ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業」を対象とし、本事業の財源を確保するための寄付を募集してまいります。

この取り組みは、全国に向けて岡谷市の特色ある事業をPRでき、この事業に賛同いただける方から支援（寄付）をいただき、岡谷市を応援していただけるものであります。

今後、ふるさと納税ポータルサイト、市ホームページ、広報誌などで周知し6月18日（月）から、1口1万円から募集を行う予定となっております。この機会に、岡谷スタンダードカリキュラムを中心として、広く地域資源を発信し、岡谷市の特色ある事業をPRするとともに、地域の知名度の向上を図ってまいりたいと考えております。

#### 3. 岡谷子ども未来塾、わんぱくアドベンチャーについて

岡谷子ども未来塾が開校いたしました。最初は、岡谷東部中学校と岡谷西部中学校で英語と数学、残りの2校

もこれから開校する予定であります。非常に子ども達一生懸命学んでいて、手応えがありそうだなと感じているところでもあります。

それから、本日早朝にわんぱくアドベンチャーということで阿南少年自然の家に向けてリーダーを含めて120名が出発いたしました。天気が少し心配ですが、子ども達は日頃の生活では得られない体験を経験できるのではないかなあと考えております。

岩本教育長： 以上、私からの報告とさせていただきます。ご報告申し上げた点について、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いをいたします。

藤森委員： ふるさと納税型クラウドファンディングについてですが、これは、ふるさと納税型ということなので、岡谷市民は寄付が出来ないということなんでしょうか。

事務局： 市内、市外関係なく寄付が可能だと思います。一応、お礼の返礼品も高額ではないんですけども対象としております。

岩本教育長： よろしいでしょうか。それでは、本日の議事に移りたいと思います。

## ○議 題

### 1. 日本遺産の認定について (生涯学習課)

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より日本遺産の認定の概要について説明。>

岩本教育長： だいたいの概要についてはお分かりになったかなと思いますが、せっかく認定をされたので、なんとかこれを活用して子ども達の勉強の場や市民の皆さんにも大いに関心を持っていただきたいなあと考えております。委員さんの方から何かこんなことをしたらというアイデアや提言等ございましたら是非お出しをいただきたいなと思います。

草間職務代理者： 今回日本遺産に認定された岡谷市内7件の遺跡は、大人も子ども知らない人が多いと思うので、この7件の遺跡を巡るツアーをしてアピールをしていただきたいと思います。

小平委員： 申請するにあたって、地域活性化に繋げるような縄文の地域に対するストーリーというのは、もう出来ているのでしょうか。それとも、そういうものを作ってから申請したということなんでしょうか。

事務局： ストーリー自体は、もう作って申請しております。また、具体的な事業で例えば、案内板を設置したりだとか、人材を育成したりだとかという事業もある程度計画をしていきたいということで申請して、今回認められたということです。

小平委員： もう少し一般の人に分かり易い伝え方みたいなことは、まだこれから考える段階ということでしょうか。

事務局： そうですね。

小平委員： プロモーションしていくにあたって色々な伝え方とかありますけども、広告代理店を入れたりとかそういう感じになっていくのでしょうか。

事務局： これからのことになります。

太田委員： 今、小平委員さんからお話がありましたが、恐らくそれをこれから協議会という形で、具体化をどんどんされていくということだと思いますので、是非ストーリーということになってくると、黒曜石を中心としてそれを求めて多くの縄文人達がこの地域に集まってきて、行ってみたら日本全体の交流の中心になったところがメインストーリーになってくるのかなあとお話を伺いながら感じましたので、そうなるのももちろん地域活性化という目的ですけども、こういうことをやる時によくそれぞれの地域が一生懸命単独で活性化みたいになっていくと、ストーリーも弱くなってしまいますし、全体としての魅力も薄れていってしまう可能性もありますので、協議会の中で全体としてどうやってそれぞれのものを繋げていくのか、全体として流れを作って、来ていただいて、見ていただいて、感じていただけるのかということを重視した形で具体化をお願いできればなあとと思います。

藤森委員：先ほどの冒頭のスタンダードカリキュラムとも関連して、地域の歴史的に価値がある宝ということになりますので、ちょっとそういう視点からも、岡谷スタンダードカリキュラムの中にこういった日本遺産を構成するような素晴らしい文化財があるんだということで、すでに取り入れられているかもしれませんが、さらにそういった意味でも肉付けをしていただいて、子ども達にとっても身近な教材として岡谷の歴史を見る機会に繋がっていくんじゃないかなあとと思います。是非、岡谷の中の教育プログラムの中にも上手く活用していただけたらいいのかなあとと思います。

高木委員：先程、太田委員さんがおっしゃったように、広い地域で考えていくことだと思いますが、やはり岡谷市の文化遺産の拠点はこの美術考古館だと思いますので、この美術考古館にお客様や市民の皆さんがいらっしゃった時に、その文化財がどのくらいの価値があるものかということが、目で見て分かるような展示が必要だと思います。例えば、顔面把手付深鉢形土器も以前、国立博物館の土偶展に出展しましたよね。その時のこういうところに展示しましたという掲示が前はあったと思いましたが、今はないんですけど、掲示自体が古くなったからなのか、事実が古いからなのか分かりませんが、過去のものであってもそういった土偶展にそれが出展されて、例えば、三内丸山遺跡から出土した土偶やなんかと匹敵する、並んで展示されるだけの価値があるものだということが、市民の皆さんに分かっていただければ、ここにあるだけじゃなくて、この土器が他の地域のものと比べてどのくらい価値があるものかということが、一目で分かっていたかどうかということが必要なことじゃないかなと思いますので、そういう過去のものも大事にしながら展示していったらどうかなあと思いました。

あと、壺を持つ妊婦土偶もそうなんですけども、いつも展示を見ていて、レプリカと記載があるので、本物は何処にあるんだろうと思っていました。今日よくよく見たらそこに本物はあって、私の見方が悪かったんですけども、もっときちんと見れば、ここに本物はあったんだということが分かって、ホッとしましたが、そのあたりをこれが出土された形で、当時はこういう形であったということが一目で分かるようにしていただいていると、もっと楽しく見られるし、親しみがわくのではないかなあと思いました。

草間職務代理者：今、高木委員さんが言われたように、恐らく土器が完全な形で出てくることはないと思いますので、子ども達の興味がわくような、こういう風にして復元してこうなったという過程が見られる展示方法もあっていいのではないかなあとと思います。

岩本教育長：ありがとうございます。色々なご意見をいただきました。この認定を受けてこれから色々と工夫をしていきたいなあと考えていますが、特に視覚に訴えて見てしっかりと分かっていたら、楽しんでいただくことを大事にしていきたいなあと考えております。例えば、黒曜石がどうしてこんなにいっぱいあるかということ、星ヶ塔という素晴らしい遺跡といいますか、産出する場所があったからこそなんですよ。私も子どもの頃、和田峠に行けば黒曜石がごろごろ落ちていて、本当に昔からいっぱい産出していました。黒曜石をどういう形でむかしの人が掘り出していたのかということも映像で紹介して見せるとか、それから、現代でも黒曜石が生きている。黒曜石を熱加工してパーライトにする。パーライトは水を浄化する作用がありますけども、現代でも黒曜石を活用している。昔から私達は、黒曜石を使いながら生きているんだということも、ちょっと付け加えるだけでもおもしろいかなあとと思います。知恵を絞ればアイデアが浮かんでくると思いますので、これからも教育委員さんにお知恵をお借りできればと思っています。よろしくお願ひします。

それでは、本日の議事につきましては、以上とさせていただきます。次に報告事項に移りたいと思います。

## ○報告

### 1. 岡谷市立中学校における部活動指導員設置要綱及び岡谷市立中学校における部活動指導員任用等事務取扱要領について (教育総務課)

岩本教育長：報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市立中学校における部活動指導員設置要綱及び岡谷市立中学校における部活動指導員任用等事務取扱要領の内容について説明。>

岩本教育長：何かご質問、ご意見等がございますか。

草間職務代理者：スポーツも芸術もそうですけども、生徒と長い時間一緒に過ごすため、人格形成にも影響を及ぼすと思いますが、技術的以外に生徒達の人格形成に対して部活動指導員として相応しいかどうかというところは校長先生の判断に任せるということになるのでしょうか。

事務局：校長先生の内申を受けて、技術的な部分は大前提になりますけども、当然適格性という部分を地域の方の意見を聞いたり、学校の校長先生が問題ないということで内申をいただくような形になりますので、その部分を任用の中でもきちんと見ていきたいと思っております。

小平委員：今、草間職務代理者さんが心配されている点で、たぶん指導者研修会を受講しなければならないという項目があるんだなあと思っておりますけども、どのような内容なんでしょうか。

事務局：研修の内容については、具体的に把握しておりませんが、基本的には今、部活動の指導にあたっての手引きみたいなものがありまして、体罰ですとかそういったことに繋がらないというような研修の中身を顧問の先生達の指導者研修として行っておりますので、恐らく顧問の先生方の研修と同じ様な内容のものを受けていただく形になろうかと思われまます。

岩本教育長：かなり非違行為が指摘をされておりますのでその点の研修や、或いは、スポーツ医学とかむかしとかかなり違っている点もありますので、そんな点を学んでいただくことになろうかと思えます。やはり、子ども達の前に立っていただくという自覚と、それから、力・資質をしっかりと身に付けていただくということを目的にしております。きっと中身の濃い研修になっているんだろうなと思えます。

高木委員：岡谷市としては、この部活動指導員を、必要に応じて任用していくということですか。それとも、積極的に指導員制度を活用していく方向でしょうか。

事務局：部活動は、学校長の運営になりますので、学校が必要とする場合に依ってという形になります。教育委員会としては、制度として対応できるように整えておいて、学校が部活動の運営として、そこを求めるのであれば、希望があればできるような体制を整えておきたいということでありまます。強制的にということではなくて、校長先生のお考えを大事にしていきたいなあと思っております。

岩本教育長：近隣の様子を色々伺うと、この部活動指導員を導入したいという希望がある校長先生はかなりおります。でも、一番のネックは適当な指導員が見つからない。なかなかオーケーをいただけない。人的配置という面がネックとなっているようです。考えてみれば、毎日定期的に夕方来て、子ども達に指導をしていただく、或いは、土日等も対外試合等の引率をしていただくということは、それなりに条件が許す人でないと難しいですよ。そういったことで、難しい点があります。岡谷の校長先生達も出来ればお願いをしていきたいという気持ちは持っていますが、具体的にどうなるかというときに、まだまだ解決しなければいけない課題があるという状況です。

太田委員：今の話を聞いて、本来であると冒頭で説明をしていただいたように、今回の制度化の趣旨という部分で、非常にこういう転換をしていく必要性というのはあろうかと思えます。ただし、なかなか現状の外部指導者の活用という形をすぐにすべて変えていくということは難しいというところなので、その時に、指導者研修会がここで明確に位置付けをされたということですので、できれば、従来の外部指導者の活用ということを継続していくにあたって、その外部指導者もなんらかの形で指導者研修会に参加をいただいたうえで、またあらためて継続をしていただくという形で、少しでも目的に向かっていく方向に繋げていければいいのかなあと思えますが、この指導者研修会は今のところそういった予定はないのでしょうか。

事務局：特に義務付けされておられませんけども、今、太田委員さんが言われたようにこれから制度化と併用していく形になると研修の必要性も出てくるのかなあと感じております。また、どういった形がいいのか考えなければいけないかなあと思えます。

草間職務代理者：一つ心配しているのは、部活動指導員と並行してボランティアで指導していただいている外部指導者の方とが一緒になって上手く指導ができるのかということなのですが、そこら辺はどうなっていますか。

事務局： その辺も学校の部活動の運営の中で上手くやっていかなければいけないと思いますけど、そういった場合には、責任の所在が明確になっていきますので、そういった部分も踏まえる中で、こういった役割をやっていただくのかというところは明らかにしていかなければいけないかなあと思っています。

小平委員： 私は、すごくこの方向性が良いなあと思っています。選べる部活が少なかったと子育てをしていて思っていて、文科系がとにかく少ないということで、ボランティアも限界があると思いますし、責任の所在も曖昧になるので、こういった制度できちんとやっていただける分には、特に文科系や科学系を増やして欲しいなあと常々思っていましたので、とてもありがたいことだなあと思っています。

岩本教育長： 部活動の指導者については、現在、年に2回ほど集まっていただいて、子どもへの接し方や指導の仕方等についての啓発をしております。例えば、子どもを引率していった声掛け、昔は本当にひどい声掛けをしていた頃もあったんですが、最近はそういった声掛けがなくなってきて、非常に上手に励ましている声が聞かれるようになっております。そういった良さもある訳ですけども、やっぱり外部指導員の皆さんはボランティアですので、責任の所在という点では非常に厳しいかなあという気がしますので、是非、この指導員制度を上手に発信出来るようにまた考えていきたいなと思っています。

それでは、続いて報告事項2に移ります。

## 2. 岡谷子ども未来塾開講について (生涯学習課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷子ども未来塾の開講の様子について説明。>

岩本教育長： 何かご質問、ご意見等はございますか。

このeライブラリの良いところは、ここで少しやって、もっとやりたいと思った時に、パスワードと家にパソコンがあれば、家から続きが出来る。要するに学習を自ら進んでやっていくきっかけ作りにとっても良いんですね。勉強が比較的苦手な子どもについても、小学生1年生からずっと系統的に入っておりますので、自分が分からないときに戻って学習できる。非常に良くできているソフトかなあと思っています。この未来塾だけではなくて、授業の中でもこういったものを使って子ども達が本当に自分の力で勉強が進められるように、そんな力を付けていきたいなあと思っています。また、教育委員の皆さんにも実際に見ていただいて、感想をお寄せいただきたいと思います。それでは、報告事項は以上とさせていただきます。

次にその他ということで、事務局からお願いします。

### ○その他

・行事等について (各課)

<各課より行事予定について説明>

・その他

岩本教育長： 続いて委員の中でご報告等あればお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、事務局より次回開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、6月の定例教育委員会を終了とします。

終了11時10分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成30年7月6日

教 育 長 岩本博行

署 名 委 員 小 平 陽 子

署 名 委 員 草 間 吉 幸

調 製 職 員 吉 澤 洋 人